

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		東 書（東京書籍株式会社）	記入責任者
総 評		巻末に自分用のホワイトボードが準備され、話し合い活動や、書くことで生徒自身が自分の意見を発表する活動への充実に向けての工夫がされている。また心情円も用意されており、話すことや書くことに支援や配慮を要する生徒にも、意見や気持ちの表現ができるように工夫もされている。さらに年度末の振り返りだけでなく、テーマごとの振り返りもできるようになっており、それらを通じて生徒自身による学びを深めるための配慮や工夫がされている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 3 学年とも巻末に日本地図と、各都道府県の伝統芸能や郷土料理などの資料が付録として掲載されており、我が国のことを考えるきっかけとなるような工夫がされている。 ⑧全学年巻末 ○ 失って初めてその大切さに気づかせるのではなく、生命を懸命に生きること、未来につなげることを深く考えることにより「生命の尊さ」について考えを巡らせる工夫がされている。 ⑪ ○ 3 年間を通じて、発達段階に応じたインクルーシブ教育推進に配慮された教材が掲載されている。 ⑫	
	2 教育基本法に基づく観点	○ 文章だけでなく、自然の写真を豊富に掲載し、生徒の自然に対する意識を引き出すための工夫がされている。 ④	
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 3 年間を通じて、もくじのページから「いじめ」の文言を明記している。また、各学年 2 編の教材を掲載し、今回の改定の意図を明確に示すことで、生徒のみでなく教員への意識づけの工夫がされている。 ② ○ 3 年間を通じて同じテーマで情報モラルに関する教材を掲載することで、一貫した思考で深める配慮と工夫がされている。 ⑪ ○ 教材が現代的課題ごとに分類されていて、考えやすくなっている。 ⑭	
	4 外的要素に関する観点	○ 行間や文字同士の間隔も広くなっており、読みやすい工夫がされている。①	
	5 構成・配列に関する観点	○ すべての項目が等しく掲載されており、偏りが無い。 ① ○ 教科書内に参考資料やワークシートが豊富に掲載されており、道徳の授業以外の時間でも使用できるような工夫がされている。 ③	
	6 資料その他に関する観点	○ 各教材のタイトルの下に、内容と合致するマンガのキャラクターのセリフが掲載されており、生徒の興味関心を引き出す工夫がされている。 ② ○ 生徒が考えたことをすぐに書き留められるように、メモスペース「つぶやき」が設けられている。 ②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 行動を求め、思考を方向づけてしまい、生徒の判断力を養ううえで配慮を要する。 ③ ○ 大阪に関しての情報が掲載されていない。 ⑧	
	2 教育基本法	○ 特になし。	
	3 学習指導要領	○ 「対話的な学び」を実践するための授業展開が紹介されているが、ロールプレイ形式での対話、意見交換が主となっているため、ロールプレイを演じた生徒には感じられるかもしれないが、見ている生徒には「生き方」を追求するための展開が難しいと考えられる。 ⑬ ○ 教材の最後に「考えてみよう」があることで、生徒の思考の方向づけがなされ、多様な思考を育む上で課題がある。 ⑰	
	4 外的要素	○ 教科書自体が他社に比べて大きく、また正方形に近い形となっているため、持ち運びには向かない。①	
	5 構成・配列	○ ワークシートは豊富に掲載されているが、生徒一人ひとりが深く考える内容というよりは、行動の善悪を問う傾向が強いため、配慮を要する。 ③	
	6 資料その他	○ 教科書に掲載されている教材が、全部で 30 編、付録として 5 編となっており、授業者や学校の実態（学校の重点目標の深化など）に合わせた選択が難しくなっている。 ①	

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		学図（学校図書株式会社）	記入責任者
総 評		社会や、そこに生きる人間の多様性を前提とし、生徒一人ひとりが、道徳的な諸価値に触れる中で問題解決の力を育むことができるように工夫されている。また、話し合いを道徳の授業の核にとらえ、話し合いを通じて人間としての生き方について考えを深めることができるように、単元ごとにコラムやデータなどの資料を挙げて学習活動に取り組むことができる。さらに、長期休暇前には学期で学んだ事柄を振り返ることができる配慮がなされている。「いじめ」に関する資料も豊富であり、特に力を入れている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 自身が参加する地域社会における社会的活動がどのようなものであるかを認識し、その意義について深く考え、将来の主権者としての自覚を持たせる工夫がみられる。 ③⑤ 1年 P162 2年 P208 3年 P196 ○ 国際社会や地球規模のレベルでの日本人の実績や取り組みを通して、将来国際人としてどうあるかを深く考える配慮がされている。 ⑦ 1年 P184 2年 P190 3年 P196 ○ 命の尊厳とよりよく生きる喜びとを関連させ、他者への理解や思いやりについて考えを深めることができる工夫がみられる。 ⑪ 1年 P26、208 2年 P200 3年 P114、192	
	2 教育基本法に基づく観点	○ 自然の存在の中で生きる在り方や諸活動について考えを深めるよう配慮されている。 ④ 1年 P126 2年 P166 3年 P60 ○ 社会における共生や共存を中心に据え、将来の社会建設について考えを深める工夫がみられる。 ③ 1年 P196 2年 P172 3年 P36	
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 自然現象や社会事象をとらえて、自然の素晴らしさ、動物とのかかわりの中で、生きることから感得する出会いや自然の尊さを考えさせる工夫がみられる。 ⑦ 1年 P202 2年 P166 3年 P202 ○ 「いじめ」に関しては、いじめを許さない観点と起こさない観点を、内容項目の公平、公正な社会正義と友情、信頼を中心に多面的にとらえている。 ⑤⑥ 1年 P92、214 2年 P44、172 3年 P100、150 ○ 自我関与を中心にとらえながら、読み物、話し合い、体験、問題解決の4つの学びに対応した学習ができる工夫がみられる。 ⑧ 全学年 ○ 各単元末に「心の扉」として、学習したことをさらに考え、深め、判断し、表現できるように配慮されている。 ⑧⑨ 全学年	
	4 外的要素に関する観点	○ 色づかいやフォントはユニバーサル・デザインを採用しており見やすい。 ①③ 全学年 ○ さし絵やイラストは、色づかいが配慮されている。 ③	
	5 構成・配列に関する観点	○ 自我関与を中心に据え、読み物を深めながら読み込む、あるいは体験学習から、または問題解決型の学習に対応できる幅広さを持たせている。 ② 全学年	
	6 資料その他に関する観点	○ ICT機器の活用に対応し、デジタル教科書が用意されている。 ②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 都道府県別に題材をとらえると、資料に偏りがあるため、配慮を要する。大阪は3年生で1つ。近畿は3年間で3つ。 ⑧ 3年 P16 ○ インクルーシブに関する項目が少ないので配慮を要する。 ⑫ 全学年	
	2 教育基本法	○ 特になし。	
	3 学習指導要領	○ バリアフリーやノーマライゼーションに関する資料が少なく、配慮を要する。 ④⑤⑥ 全学年 ○ 多様な見方やものの考え方を展開できる教材が少ない。 ⑬ ○ 巻頭にテーマやねらいが提示され、教材を読んで考えを深めるうえで配慮を要する。 ⑭	
	4 外的要素	○ 「振り返ろう」「学びの記録」に統一感がない。 ① ○ 教科書サイズが変形正方形であるため違和感を覚える可能性がある。 ①③	
	5 構成・配列	○ 考えるためのヒントが多すぎて、深い思考に結びつかない可能性がある。 ①	
	6 資料その他	○ 実在する製薬会社を想起させる写真が掲載されている。 ② 3年 P134	

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		教出（教育出版株式会社）	記入責任者
総 評		多くの教材が「導入の発問」・教材・「学びの道しるべ」の順の構成になっており、1 時間の授業について、教師も生徒も見通しを持って取り組みやすい。また、「人との関わりに関すること」についての教材や先人に学ぶ教材を多く取り入れており、生徒には読めば内容を理解できる文章となっているものが多いなど、道徳項目への理解を深めやすくなっている。さらに、発達段階に応じた構成となるように適切な教材を選定しており、授業計画が立てやすくなるように工夫されている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 各学年に大阪や関西に関する教材を取り入れ、地域とのつながりを考えさせるように配慮している。 ⑧ 1 年 P152 2 年 P158 3 年 P158 ○ 家族、友達、お年寄りなど、教材によって生活背景の多様な人物が登場し、立場や考えの違う人に対しても思いやりを持つことについて考えることができるように配慮されている。 ⑩ 1 年 P52 2 年 P10 3 年 P10	
	2 教育基本法に基づく観点	○ 幅広い分野から知識を得られるような教材が多い。 ① 1 年 P108 2 年 P18 3 年 P88 ○ 社会の一員として果たす役割や仕事に就いて考えられるように工夫してある。 ② 1 年 P152 2 年 P38 3 年 P128	
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 各学年に友達関係やいじめに関する教材を取り入れている。またイラストや漫画を使って生徒が人間関係について考えを深めやすいように工夫されている。 ②⑤ 1 年 P38 2 年 P26 3 年 P72 ○ 教材の初めに本時で考えるべきことを発問として提示しており、導入に利用しやすい。また、教材の最後に「学びの道しるべ」として中心となる発問や考えたい道徳的諸価値がまとめてあり、授業を進めやすい。 ③⑩ ○ 震災や多文化共生、死刑制度、ドナーカードなど、現代的課題に対して考えを深めることができる。 ⑬⑭ 1 年 P100 2 年 P118 3 年 P88 ○ 生徒作文を掲載し、同年代の意見から「生き方」についての考えを深める工夫がされている。 ⑫ 3 年 P150 ○ 発達段階に応じて重点的に学ぶ道徳の内容項目を変えて、1 時間の授業後の目標とする生徒の姿をイメージできるように工夫している。 ⑬ 1 年 内容項目 AB 2 年 内容項目 BC 3 年 内容項目 CD	
	4 外的要素に関する観点	○ 文字の大きさは適切で、カラーのさし絵は好感もてるものが多い。 ①② 1 年 P12	
	5 構成・配列に関する観点	○ 各行にポイントが打たれ、行数が数えやすくなっている。 ① ○ 年間行事を念頭にした教材構成になっているため、1 年間を見通して道徳の授業を進めることができる。 ③	
	6 資料その他に関する観点	○ 郷土の出身者の人生についての言葉から学ぶことができる。 ③ 1 年 P193 2 年 P177 3 年 P177 ○ まとめの枠があり、学年の締めくくりができるように工夫されている。 ②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 教材を読めば生徒はどのように考え、答えるか分かるものが多い。① 1 年 P12 ○ インクルーシブ教育に関する教材が各学年 1 教材と少ない。 ⑫ 1 年 P166 2 年 P32 3 年 P114	
	2 教育基本法	○ 男女関係を考える教材について、発達段階に応じた内容として課題がある。 ③ 1 年 P144	
	3 学習指導要領	○ 自らの生き方を深められずに、読み取りで終わる恐れのある教材が多い。⑭ 1 年 P78 2 年 P50 3 年 P34 ○ 情報モラルについては資料が各学年 1 本程度である。⑪ 1 年 P28 2 年 P68	
	4 外的要素	○ 文章が行の途中で切れているものが多い。1 年生には文字が小さい。 ①	
	5 構成・配列	○ 30 の教材以外を補充としており、年間計画を立てづらい。 ④	
	6 資料その他	○ さし絵の大きな資料が多く、教材を読むにあたり配慮を要する。② 1 年 P21	

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		光村（光村図書出版株式会社）	記入責任者	
総 評		多くの教材をもとにして、教員と生徒が一緒になって道徳的価値について考え、読み進めていくことができるように工夫している。また、生徒にどのような力をつけさせるための教材なのかを皆が把握した上で、授業に取り組むことができる。さらに、多様な立場や考え方、多文化共生などについての取り組みも、基本的なところから考えていくことができ、今までこれらの課題について触れたり考えたりすることのなかった生徒にとっても生き方についてふりかえるきっかけとなる工夫がみられる。		
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 日本各地の偉人などを学ぶことができる資料を載せている。 ⑧ 1年 P179 2年 P34 3年 P166 ○ 多様な生き方や立場について学ぶことのできる教材が多い。 ⑩⑫ 3年 P68 ○ 情報教育や多様な生き方や立場、個別の現代的課題について、コラムに詳細な資料が載せてあるので分かりやすい。 ②⑦ 1年 P46 2年 P146 3年 P148		
	2 教育基本法に基づく観点	○ 生徒が親しみやすいように歌詞を活用し、豊かな情景と道徳心を培う工夫がされている。 ① 1年 P162 2年 P154 3年 P204 ○ 自然環境やボランティアの実例を多く扱っている。 ④ 1年 P104、150 2年 P107、116 3年 P58、68、108、156		
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 教材の初めに道徳の内容項目が示されており、本時の目標が分かりやすい。また終わりには「学びのテーマ」「考える観点」「見方を変えて」を載せているので、1時間の授業の流れをつかみやすくなっている。 ③⑧ 1年 P156 2年 P107 3年 P158 ○ いじめ、市民性教育、インクルーシブ、共生社会など、現代的な課題を取り上げた教材を多く取り入れている。 ②⑫⑭⑯ 1年 P143 2年 P148 3年 P94 ○ コラムや漫画などを活用し、よい人間関係のつくり方について学ぶことができる資料を多く載せている。 ⑤ 1年 P128 2年 P180 3年 P52 ○ 教材の最後に成長の記録を記入できる「わたしの気づき」を載せており、道徳の授業で学んだことをふり返ることができる。 ⑧ 巻末 ○ 発達段階に応じて教材の重点や組み合わせを変え、生徒の成長を感じやすい構成となっている。 ⑮		
	4 外的要素に関する観点	○ 表紙のイラストや写真の大きさや配色は落ち着いており、文章に集中しやすく、親しみをもちやすい。 ①②		
	5 構成・配列に関する観点	○ 小学校での教材を再掲し、考えを深めるように工夫されている。 ③④ 1年 P212 2年 P210 3年 P214		
	6 資料その他に関する観点	○ コラムや「あなたへのメッセージ」「学びの記録」で理解を深めやすい。 ② ○ 多くの資料により、生徒が興味や知識を深めやすいように配慮している。 ②		
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 「学びのテーマ」や多くの資料により考えが誘導され、多面的・多角的に考えることに配慮を要する。 ①③ 1年 P104 2年 P84 3年 P48 ○ 3年「命と向き合う」では、自主的に考えさせることに配慮を要する。 ⑩ 3年 P188		
	2 教育基本法	○ 特になし。		
	3 学習指導要領	○ 「つなげてみよう」では、生徒が問題意識を持って多面的・多角的に考えることに配慮を要する。 ④⑤⑥ 3年 P12 ○ 情報モラルに関する教材がやや少ない。 ⑥⑪ 1年 P81 2年 P13 3年 P108 ○ 写真によっては、多面的・多角的に考えを深めることに配慮を要する。 ⑰ 1年 P43		
	4 外的要素	○ 1年生にしては字が小さく、行間が狭い。 ①③ 1年 P12		
	5 構成・配列	○ 実施順について、内容項目の偏りに課題がある。 ③ 1～3年いずれも P2		
	6 資料その他	○ 写真などで本文が分断され、思考の集中を途切れさせてしまう可能性の高い教材がある。 ① 1年 P48 2年 P54 3年 P150		

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		日 文 (日本文教出版株式会社)	記入責任者
総 評		1 年ではいじめの防止や人間関係の形成の教材を、2 年では職場体験活動の関連の教材を、3 年では将来の準備となる教材を、年間を通して中学校生活への希望・集団生活の向上・次学年への準備となるように文科省作成の教材や身近な教材から配列し、生徒が主体的に取り組みやすい配慮がされている。また、末尾に「考えてみよう」、「自分にプラスワン」を配置し、教師の授業展開を助ける工夫がしてある。さらに、教材と関連した内容を扱ったコラム「プラットフォーム」を使用することで、より深い学びにつながる配慮がなされている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 大阪だけでなく地域別教材を各学年に多数配置する工夫がされている。 ⑧ ○ 子どもが安心して成長できる安全な社会の実現に向けて、いじめと向き合う教材を多数配置している。また、いじめを直接的・間接的に扱った教材に様々な指導内容を組み合わせて、集中的に学習できる工夫がなされている。 ⑨ ○ 国際社会で生き抜く力を育むことができる教材を配置し、世界的視野をもつことができるように工夫されている。 ⑦ ○ 暮らしの中のマークやパラリンピック等の教材が配置され、インクルーシブ教育システムの充実、推進につながる。 ⑫ 1 年 P76 2 年 P66 3 年 P28 他	
	2 教育基本法に基づく観点	○ 我が国と郷土の伝統を尊重し、それをさらに発展させていこうとする態度が育成できる教材を多数配置している。 ⑤ 1 年 P134 2 年 P154 3 年 P16 他	
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 中学校 3 年間の発達の段階を踏まえて、キャリア教育のめあてに即した資料を系統立てて配列している。 ⑧ ○ 教師が指導しやすいように冒頭には「主な登場人物」を、末尾には生徒の議論を助ける発問例となる「考えてみよう」や「自分にプラスワン」を配置する工夫がなされている。 ⑨ ○ 資料と関連した内容を扱ったコラム「プラットフォーム」を適宜掲載して生徒自らが自己の生き方に関して考え方を広げ深められるよう配慮されている。⑧ ○ SNS の危険性等情報モラルに関する指導内容が自由と責任等の視点で考えられるよう工夫されている。 ⑪ 1 年 P92、96 2 年 P66、70 3 年 P90、92 ○ 分冊の「道徳ノート」では、資料ごとに自分の生き方について考えを深められる「自分にプラスワン」の項目があり、生徒が自ら考えたことを記入することで学びを積み重ねることができる。また、他者から学んだことを書きとめることで言語活動が充実できるようにしている。さらに、自己評価できる項目も工夫されている。 ⑨	
	4 外的要素に関する観点	○ カラーバリアフリー・ユニバーサルデザインが採用されていて、読みやすい。 ①②③	
	5 構成・配列に関する観点	○ 重要なテーマには教材とコラムを配置し、適切な時期にテーマと教材を配置することで見通しを持って学習できるよう工夫されている。 ②③	
	6 資料その他に関する観点	○ 写真が多くコラム「参考」があることで学習内容の理解を助ける工夫がされている。 ①	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 大阪に触れる内容があまり取り上げられていない。 ⑧ ○ 体験的な学習や問題解決的な学習に適した教材には「学習の進め方」が設けられており、グルーブトークの学習形態が固定化されてしまう恐れがある。 ⑩	
	2 教育基本法	○ 特になし。	
	3 学習指導要領	○ 生徒が興味を持ち、感動を覚える教材が少ないため、自分自身を見つめさせるための工夫が必要である。 ⑭ ○ 人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる教材が少ないため未来志向を確立するための工夫が必要である。 ⑦	
	4 外的要素	○ 特になし。	
	5 構成・配列	○ タイトルの上にキーワードが示されており、思考が方向づけられしう可能性があるため、多様な見方、考え方のための工夫が必要である。 ⑰	
	6 資料その他	○ 教科書と別冊ノートの開く方向が逆になっている。 ②	

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		学研 (株式会社学研教育みらい)	記入責任者
総 評		生徒が主体的に問題意識を持ち、他者との対話を大切にしながら自分自身を見つめなおし、とらえなおすことに意識を持たせるよう工夫されている。また、広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方を深めるために、特定の価値観や概念を理解させるのではなく、生徒個々が考えを深めたのちに主題や内容項目を後で確認させることに重点が置かれている。さらに、生徒が主体的に課題を発見し解決していく力や能力を養うことに重点がおかれている。巻頭や巻末においても主体的な学びができる配慮がみられる。	
特に優れている点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ いじめの防止については、SNS など身近な事案を考えさせ、情報モラルを具体的な生活場面に合わせ、考えさせる工夫がみられる。 ⑪ 1年 P24 他 ○ 生命の尊重や、ノーマライゼーションをあつかう資料では、生徒が感動を覚え、心豊かに生きることを考える態度を育むようコラムなどを資料末に付けている。 ⑤ 1年 P60 3年 P20、74、147	
	2 教育基本法に基づく観点	○ 「伝統と文化」の尊重、我が国の国際的な貢献を取り上げるとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する配慮がなされている。 ⑤ 1年 P172 2年 P152、173 3年 P170	
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 「読み物教材」の末には、「クローズアップ」として、さまざまな道徳的諸価値を多面的・多角的に考え、捉えなおすことのできる配慮がみられる。 ④⑤⑥⑦全学年 資料末ページ ○ 「情報モラル」に関することは、各学年に複数の教材があり、SNS の利点や欠点、それに関係するいじめの問題など幅広く取り上げられている。 ⑪ ○ 「自己肯定感」や「アンガー・マネージメント」などを取り上げ、読み物資料の主人公の悩みや道徳的葛藤（モラル・ジレンマ）や他者理解といった事柄を上げることで、生徒がより深く多面的・多角的に考えを深めることができるように配慮されている。 ④⑤⑥ 2年 P124 3年 P98 ○ 教材を読む前に内容項目やテーマを先に提示せず、生徒自身が課題意識を持ちつつも、異なった考え方や意見を取り入れ、多様な観点から課題を意識する工夫をこらしている。 ⑨⑩ ○ 公共の精神に基づいて、主体的な社会形成に自ら参画する態度を養えるように配慮されている。 ⑥ 1年 P102 2年 P44 3年 P136 ○ 我が国と郷土の伝統文化に触れる機会を与え、伝統と文化を尊重し、国を愛する態度を養うよう配慮されている。 ⑥ 1年 P50、134 2年 P168、152 3年 P60、132	
	4 外的要素に関する観点	○ 表紙イラストは、生徒に親しみやすい絵柄である。また、使用される文字は程よい大きさ（ユニバーサルデザインフォント）で、さし絵なども取り入れ読むのが苦手な生徒にも配慮されている。 ①②全学年	
	5 構成・配列に関する観点	○ 巻頭ページにて、問題や気になることを見つけ、資料を基に考え、考えたことを話し合い、生き方について深めるという4つのポイントを示している。④	
	6 資料その他に関する観点	○ 日本各地に関連した資料を挙げている。大阪に関しては、1年2資料、2年3資料、近畿に関しては15もの資料が挙げられている。 ② 1年 P108 他	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 社会参画や公共に関する教材が少なく、地域社会で生きることや、自分自身の社会的役割について考える項目では配慮を要する。 ⑤全学年	
	2 教育基本法	○ 特になし。	
	3 学習指導要領	○ 社会参画・家族愛の教材数に差があり、多いもので3つ、少ないものは1つと内容項目によっては各学年ともに配慮を要する。 ④⑤⑥⑦ ○ 巻頭・巻末・補足の教材が豊富なため、本教材を深く読み込む際に配慮を要する。 ①	
	4 外的要素	○ 教科書のサイズがA4とやや大きいため扱いにくい。 ①	
	5 構成・配列	○ 具体的な教材が多いため、学習指導要領によらず、授業者自身の考えのみで授業を成立させてしまう恐れがある。 ②	
	6 資料その他	○ 特になし。	

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		廣あかつき (廣済堂あかつき株式会社)	記入責任者
総 評		道徳教材として長く読み継がれてきた名作や感動教材に加えて文科省教材や多様な教材が配置されており、生徒が読み取りやすいよう配慮されている。また、各教材に「考える・話し合う」を設け、教師にとっては授業展開の手助けを生徒においては自らが主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。さらに、別冊については、教材ごとの振り返りとして使用するよりも「自分を見つめ・考え・伸ばす」ことができ、道徳的価値について解説している教科書とは独立した資料本として使用することで、さらなる深い学びにつながる。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ いじめ防止と関わりの深い内容項目「公正・公平・社会正義」だけでなく「友情・信頼」「思いやり・感謝」「生命の尊さ」などの様々な道徳的価値の理解を深めることを通して、いじめの防止につながる教材を配置している。 ⑨ 1年 P36 2年 P40 3年 P36 他 ○ パラリンピックや難病の少年・車椅子の少女などの教材を取り上げ、インクルーシブ教育システムの充実・推進につなげることができる。 ⑫ 1年 P116 2年 P34 3年 P26 他	
	2 教育基本法に基づく観点	○ 別冊「道徳ノート」には、発達の段階に応じて、それぞれ異なる表現で内容項目の解説をする工夫がされている。 ①	
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 別冊「道徳ノート」には、グラフやアンケート結果・詩などの指導者の展開・構想に応じて活用できる資料が配置される工夫がされている。 ⑨ ○ 生徒が人間として生きることの素晴らしさを感じ取れるように、先人の伝記や著名人・スポーツ選手等の人物教材を多数配置している。 ③ ○ 生徒が興味を持ち感動を覚える教材を数多く取り入れることにより、悩みや葛藤などの心の揺れを感じ人間関係の理解を深めるように工夫している。 ⑩ ○ 情報機器によるコミュニケーション・情報モラルに関する教材を多数配置し、様々な角度から考えられるように工夫している。 ⑪ 1年 P111 2年 P10 3年 P64 他 ○ 生命の尊重に関する教材では、「希望と勇気 克己と強い意志」や「家族愛 家庭生活の充実」など異なる内容項目の学習においても生命尊重との関わりで考えられるように組み合わせている。 ⑦ 1年 P15 2年 P34 3年 P24 他 ○ 「社会参画・公共の精神」の内容項目に関する教材では、ボランティア活動や裁判員制度などを題材として取り上げそれらの根底にある公共の精神の大切さについても多面的、多角的に捉えることができるように工夫されている。 ⑥ 1年 P74 3年 P142	
	4 外的要素に関する観点	○ 文字の大きさ、さし絵、写真の大きさが適切で色づかいも見やすい。 ①②③	
	5 構成・配列に関する観点	○ 先哲の言葉や考えを手掛かりにできるようすべての教材の最後に格言・名言を配置する工夫がなされている。 ①	
	6 資料その他に関する観点	○ 巻末資料が豊富に配列されている。 ①	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめ防止についての教材がやや少ない。 ⑨ ○ 大阪に触れる内容があまり取り上げられていない。 ⑧	
	2 教育基本法	○ 特になし。	
	3 学習指導要領	○ 教材ごとにある「学習の手がかり」では、ねらいがはっきりと示されているものもあり、多面的・多角的に考えることに配慮を要する。 ③⑧ ○ 集団や社会との関わりに関する教材がやや少ない。 ⑥	
	4 外的要素	○ 判型が大きく、分厚くて重いため、持ち運びには向かない。 ①②	
	5 構成・配列	○ 1年生だけ字が大きめに作成されているが、その必要性を特に感じない。 ①	
	6 資料その他	○ 「別冊ノート」は教材ごとの記入となっていないため、使い方に配慮を要する。 ①	

平成 31 年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果用紙

道 徳		日科（日本教科書株式会社）	記入責任者
総 評		全学年教科書の巻頭に、生徒が年度を通じて「道徳科では何を考え学ぶのか」についてのフローチャートが記されており、明確な目標を持って学習ができるようになっている。また、巻末には生徒自身の心の成長と道徳の時間の振り返りシートが掲載されており、反復して考えを深めることができるようになっている。さらに、巻末のシートには1・2年生は次年度に向けて、3年生は将来に向けて、心をどのように成長させるのかを生徒自身に考えさせる部分もあり、道徳の授業時間だけでなく、日常生活に意識を継続させるための工夫がされている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 大阪が舞台の教材だけでなく、他都道府県が舞台の教材も数多く扱うことで、我が国全体に意識を広げるための工夫がされている。 ⑧ ○ 「死」によって生命を考える教材が多く掲載される中、「生きること」をテーマにした生命の教材が掲載されている。また生徒の発達段階に応じた「生命」の教材が3年を通じて掲載されている。 ⑩ ○ 性同一性、視・聴覚障がい、パラリンピック等の教材が掲載され、インクルーシブ教育推進の配慮がされている。 ⑫1年P16、186 2年P64	
	2 教育基本法に基づく観点	○ 情報やコラムとしてのデータを豊富に掲載することで、深く考えるために必要となる知識の獲得についても工夫がされている。 ① ○ 我が国や郷土についての伝統、文化に関する教材が掲載されている。 ⑤	
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 「いじめ」に関する教材ではあるが、直接的な内容で示すのではなく、多面的・多角的な思考を促すように、他の価値との関連から考えられるように工夫がされている。 ② ○ 1年では動物が、2年では植物が、3年では宇宙がそれぞれ題材にされており、自然に対する畏敬の念を生徒の発達段階に応じて視野を広げて考えさせる工夫がされている。 ⑦1年P170 2年P172 3年P168 ○ 3年間を通じて SNS やインターネット等、生徒の発達段階に応じて幅を持たせた情報モラルに関する教材が掲載されている。 ⑪1年P98 2年P74	
	4 外的要素に関する観点	○ 文字も大きく、行間も適当であり、教材を読みやすくする工夫がされている。 ①③	
	5 構成・配列に関する観点	○ 他教科との関連付けがしやすい教材が掲載されており、教科横断的な思考ができたり、道徳授業の目標の一つである、相互の関連を捉え直したり発展させたりすること、を实践するための工夫がされている。 ②④1年P13 ○ 内容項目A-(1)から順番に掲載されているため、指導計画に合わせて組む際に使用しやすい。 ④	
	6 資料その他に関する観点	○ 製本が丁寧で、写真・イラストも豊富に使用され、生徒が親しみやすい工夫がされている。 ① ○ 全学年 50 編程度の教材が掲載されており、授業者の指導力や学校の実態（学校の重点目標の深化等）に合わせた選択への配慮がされている。 ①	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 社会通念の強い教材があり、自己の判断の能力の育成に配慮を要する。 ③ ○ 大阪を扱った教材が3年間で1編しか掲載されていない。 ⑧2年P108	
	2 教育基本法	○ 特になし。	
	3 学習指導要領	○ 「いじめ」を直接的に表現する教材が少ないため、授業者の力量によっていじめの教材として扱えるかどうかの判断が難しい。 ② ○ 多様な価値観を考えさせる目的ではあるが、思考を深めるうえで配慮を要する。 ⑩	
	4 外的要素	○ 特になし。	
	5 構成・配列	○ イラストだけで構成された、読みやすさに課題のある教材が掲載されている。 ①1年P130	
	6 資料その他	○ 道徳的諸価値について多面的・多角的に思考を深めることよりも、一般的に考えられる正しさを前提として、それに導くための教材が多い。 ①	